

平成 2 6 年

亀山市教育委員会 6 月定例会会議録

亀山市教育委員会 6 月定例会会議録

1. 日 時

平成 26 年 6 月 26 日（木）13 時 30 分開会

2. 場 所

亀山市役所本庁舎 3 階 理事者控室

3. 出席委員

1 番委員	岡 田 香
2 番委員	肥 田 岩 男
3 番委員	井 上 恭 司
4 番委員	伊 藤 ふじ子
5 番委員	大 萱 宗 靖

4. 欠席委員

なし

5. 議事参与者

教育次長	佐久間 利 夫
教育総務室長（以下総務室長という。）	原 田 和 伸
学校教育室長（以下学校室長という。）	服 部 裕
教育研究室長（以下研究室長という。）	西 秀 人
生涯学習室長（以下生涯室長という。）	亀 山 隆
図書館長	久 野 友 彦
歴史博物館長（以下歴博館長という。）	小 林 秀 樹
まちなみ文化財室長（以下まち室長という。）	嶋 村 明 彦
教育総務室主幹（書記）	木 崎 保 光
教育総務室主査（書記）	水 野 英 樹

6. 会議録署名者指名

5番委員（大 萱 宗 靖 委員）

7. 前回会議録の承認（第5回臨時会、第6回臨時会、5月定例会）

承認

8. 教育長報告

教育長 教育長報告の主なものを「平成26年6月定例会教育長報告」に基づき報告。

5月31日に三教組の定期大会が今年は亀山市の文化会館で開催され、出席した。

6月1日は亀山市の水防訓練があり、出席した。例年、教育長は出席していないが、今年度は国土交通省、建設業協会も参加し、関消防署近くの鈴鹿川沿いで行われた。また、少年消防クラブも参加した。

2日と16日には、県教委の学校訪問があり、6校を訪問した。

4日、三重大学で三重県教員免許状更新講習第1回連絡協議会があり、出席した。

7日には学校経営研修会があった。今年度は趣を変えて、塾の経営者を講師に招いた。

10日から13日にかけて市議会の議案質疑、一般質問があった。主に次長が答弁した。

21日の学校経営研修会では、県教委から2人の講師を招いた。

25日には行財政改革統括管理委員会があり、平成27年度以降の大綱策定について検討した。

井上委員 2点質問する。

23日の2年目職員面談は、全庁的に行ったのか。

教育長 試験委員会の委員が採用後2年目の正規職員全員を対象に実施したものである。

井上委員 6月議会ではどのような質問があったのか、また「検討する」というような答弁をした質問はあったのか。

教育次長 放課後子どもプランの質問がありました。答弁では、「機能していない」と言わざるを得ませんでした。実際に、国の方でもこのプランは全国的に十分機能を果たしていないと認めています。本来、放課後子ども教室と放課後児童クラブとの一体化や連携を目的に行っている会議ですが、しっかり目的意識を持って進めなければならない状況です。また、「検討」としたものは、図書館システムの関係で、「今後、学校と図書館とのネットワークを検討していきたい」と答弁しました。

(ほかに質問はなく、教育長報告を終わる。)

9. 議事

委員長 議案第32号「市職員の人事異動について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育次長 (提案理由説明)

委員長 議案第32号は、人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書に基づき、非公開に当たるので各委員に諮る。非公開としてよいか。

(全委員異議なし)

議案第32号「市職員の人事異動について」は非公開とする。関係職員以外は退室を願う。

(関係職員以外退室)

《非公開》

(議案第32号は可決される。)

(退室した職員入室)

委員長 議案第33号「亀山市青少年総合支援センター補導委員の委嘱について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育次長 (提案理由説明)

(生涯室長詳細説明)

井上委員 以前も同じ質問をしたが、将来的に「コミュニティ」は「まちづくり協議会」へ移行していくのか。

教育次長 各地域の意向にもよりますが、市としては移行の方向で考えています。

(ほかに質問はなく、議案第33号は可決される。)

委員長 議案第34号「亀山市立図書館の開館時間の変更について」を

上程し、事務局の説明を求める。

教育次長

(提案理由説明)

(図書館長詳細説明)

(質問はなく、議案第34号は可決される。)

10. 報告事項

委員長

報告事項1について説明を求める。

(学校室長説明)

岡田委員

公募委員に10名の応募があったとのことであるが、保護者以外の応募の数はどれだけか。また、3名の公募委員のうち、保護者は何名か。

学校室長

3名の委員のうち保護者は公立2名、私立1名です。また、応募者10名のうち半数は保護者以外で元教員や大規模調理施設で勤務している方などがみえました。

岡田委員

一般市民の関心度合いを知りたかった。

井上委員

委員20名の区分について、比率は決まっているのか。市職員が6名、学校・保育園関係者が7名いるが、PTAは2名、公募委員が3名しかいない。一般の方は会議で萎縮するのではないか。また、事務局はこの委員会でどこまでの業務を担うのか。

学校室長

委員の比率に決まりはありません。それぞれ関係する部署の代表者に入ってもらっているものです。

井上委員

企画総務部や財務部はどういう意味で入っているのか。

学校室長

企画総務部は学校給食が主要事業と市長の公約に関わるため、人事については調理員・市職員に関わるため入ってもらっているものです。財務部は、委員会での決定事項が必ずしも実施されるわけではないが、財政面を全く考慮せず議論を進めるわけにはいかないので、財政面から意見をもらうために入ってもらっているものです。子ども家庭室長は認定こども園の関係、農政室は市職員の代表、地産地消の関係、教育総務室は調理員の任用部署と施設面の担当という意味で入ってもらっており、原則、前回の委員会に準じたメンバーとしています。事務局は、第1回目の委員会で委員長を決めるまでの進行と、委員会での給食の現状や課題説明、例えばアレルギーの問題などの話題提供を行います。最終的

には委員長に意見書をまとめていただくが、教育委員会としての方向性は、この教育委員会定例会で決定していきます。また、事務局としては、検討委員会の中で「試食したい」、「先進地視察がしたい」などの声があれば、それらの準備を行います。

井上委員 現実的な議論をしていくために、企画総務部や財務部の担当が入ることは大切なことであるが、一般市民の方が意見を言いにくい雰囲気にならないのか心配である。

学校室長 市職員は室長級であるが、市としての決定権を持って出席するわけではありません。また、デリバリー方式の話だけではなく、第3回まではアレルギーの問題や消費税増税に伴う給食費の問題を検討してもらう予定です。

教育次長 最終的に意見書にまとめてもらうため、活発な議論は大切であるが、現実を見てどこで折り合いをつけるかも重要であるため、市職員にはそのあたりを踏まえて意見をもらいます。

(ほかに意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項2について説明を求める。

(生涯室長説明)

井上委員 放課後子ども教室が機能していないのか、学童保育所が機能していないのか、連携が機能していないのか。どこが上手く機能していなくて、どのような課題を抱えているのか。

教育次長 放課後子どもプランは、放課後子ども教室と学童保育所の一体化または連携を図ることを目的としています。亀山市においては、放課後子ども教室はすべての小学校区に、学童保育所は白川小学校区以外のすべてに設置されています。今までの会議ではそれぞれの実情を報告するだけで連携を図るまでには至っていませんでした。国の方でも機能が十分果たされていないと言われていきます。亀山市の場合は両方が整ってきたため、今から検討していくべき段階に入っています。

教育長 この会議は年2回開催されており、冒頭のあいさつに出ていた。議員から指摘をいただくまでもなく、会議のあり方としては情報交換をして、それをベースに放課後の子どもの安心安全や居場所作りをどうしていくべきかを話し合う場であり、会議の位置づけとしては大変意義深いものである。現実的にどのようなことを提案し進めて行くべきか、これまで模索してきたが、トータル

に考えていくよう進めてもらいたいと思っており、現在、生涯学習室でそのように考え、準備をしている。

井上委員 一体化が課題なのか。放課後子ども教室と学童保育所は活動回数や内容が異なるが一体化が可能なのか。

教育次長 亀山市の場合は事情が異なり、一体化は困難な状況です。東京などの都会では学校の建物の中に学童保育所があります。学校の中に学童保育所があり、放課後子ども教室も行っています。一緒の学校内で行っているのであれば、もっと連携を図る必要があるということです。学童保育所は生活の場であり、亀山市の場合、学校内への設置が困難な状況であり、現実的には連携を検討する必要があると考えています。

井上委員 東京のようになっていくのか

教育次長 国の子ども・子育て会議では、今ある施設を使う方法で学童保育を広げていくことを考えています。女性の社会進出を図るため、就学前だけではなく就学後も子どもを預け、安心して働ける環境を整備するため、学童保育所を充実させていくという流れであり、その一環として放課後子どもプランが検討されています。

井上委員 「女性の社会進出を担保していく」や「小1の壁」、「学童保育所」のことは話題になっているが、「放課後子ども教室」は話題に出てこない。連携と言われても、よく分からない。

生涯室長 放課後子ども教室に関しては、昨年度、すべての小学校区での実施となりました。これがスタンダードという訳ではなく、県下では約20%の実施率となっています。亀山市は100%ということで既に独自の在り方になっています。どうすれば連携していけるのか、今後検討していく余地があるということです。

井上委員 子ども家庭室や生涯学習室は、亀山スタイルを築いていく、意見交換だけではなくということか。

生涯室長 意見交換だけではなく、連携の在り方を具現化していく必要があると考えています。野登地区では学童保育所と連携した取組を既に行っています。その効果や留意点、どういったやり方が可能かを委員会として方向性を出していきたいと考えています。

井上委員 一体化というと合体というイメージがする。そうではないのか。

生涯室長 一体化は現実的に無理があるため、連携のあり方を主体に考え

て行きたいと考えています。

委員長 委員は、加太地区から2名、野登地区から2名いるが、全体のバランスはどうか。

生涯室長 加太地区、野登地区は共に活発に活動しており、学童保育所との連携を既に行っています。学童保育所と放課後子ども教室、それぞれに代表者を選出してもらったところ、偶然こうなったものであります。

(ほかに意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項3について説明を求める。

(生涯室長説明)

委員長 登録件数はどれだけあるのか。

生涯室長 現時点で762件の登録があります。各学校区に満遍なくあります。これは、PTAの関係者などが一軒一軒回っていただいた結果、今の数となっているものです。

井上委員 第6条にある表示板は新たに置き替えるのか。

生涯室長 表示板は、古くなったり、破損した場合や新規に登録いただいた場合に配布します。

(ほかに意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項4について説明を求める。

(研究室長説明)

大萱委員 単価9,000円は1日単位か。

研究室長 45分1コマで3コマを限度として9,000円となっています。よって、1コマあたりの単価は3,000円となります。

委員長 保育園には私立も含まれるのか。

研究室長 私立も含めています。

井上委員 小学校の実施回数は、学校ごとの差はないのか。

研究室長 1学校につき年6回程度としており、学校によって若干のバラつきはあります。

委員長 報告事項5について説明を求める。

(総務室長、学校室長、研究室長、生涯室長、図書館長、まち室長、歴博館長から教育委員会行事報告及び予定表について報告する。)

(意見はなく、報告を終わる。)

1 1. その他

総務室長 （「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施において、意見等をいただく学識経験者」について説明する。）

歴博館長 教育要覧34頁について、5月定例会で指摘を受けた点について追記をしました。

書記 「平成26年度三重の教育談義」が10月30日（木）に開催されます。

委員長 7月の定例会は7月31日（木）13時30分からとする。

1 2. 閉会

15時15分

以上会議の顛末を記録し、下記のとおり署名する。

委員長

5番委員

教育長